

神戸市職員（学芸員：日本史）採用選考案内

採用日 令和2年4月1日（予定）
選考日 令和元年6月23日（日）
受付期間 令和元年5月23日（木）～ 6月10日（月）

令和元年5月

神戸市

1 選考区分、採用予定数及び受験資格

選考区分	採用予定数	受験資格	
		年齢	学歴・資格等
学芸員 （日本史）	若干名	平成4年4月2日以降に生まれた人ただし、大学院を修了した人又は令和2年3月までに修了する見込みの人は、平成2年4月2日以降に生まれた人	大学（短期大学を除く）を卒業した人又は令和2年3月までに卒業する見込みの人 学芸員の資格を有する人又は令和2年3月末までに取得する見込みの人

次の各号の一に該当する者は受験できません。

- ア 成年被後見人又は被保佐人
- イ 禁こ以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- ウ 神戸市において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
- エ 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

なお、日本国籍を有しない人も試験を受けることができます。ただし、公権力の行使を伴う職及び市の意思形成に参画する職には任用されません。職務内容等が異なるほかは、差異はありません。

2 第 1 次 考 査

- (1) 日 時 6月23日(日) 午前9時集合(選考会場は午前8時30分開場)
※面接は別日に実施予定ですが、筆記考査と同日になる可能性もあります。
- (2) 場 所 甲南大学(神戸市東灘区岡本8丁目9-1)
(案内図参照) 阪急神戸線「岡本駅」下車 徒歩10分
- (3) 選考の方法

		内 容
筆 記 考 査	筆 記	基礎的事務処理内容について択一式により行います。
	専 門	専門知識について記述式により行います。出題分野は次表のとおりです。
面 接		集団方式により行います。 ※詳細は受験票にてお知らせします。

(注) 各科目のいずれかにおいて一定の合格点に達しない者は、他の成績のいかんにかかわらず不合格となります。

※ 携 行 品 第1次考査受験票、筆記具、昼食、82円切手1枚(選考結果通知用)

筆記考査(専門) 出題分野

選 考 区 分	出 題 分 野
学 芸 員 (日本史)	博物館学、日本史(古文書などの文献読解等を含む)

- (4) 発 表 7月中旬に受験者全員に文書で通知するとともに、神戸市役所2号館1階ロビーに掲示する予定です。

3 第 2 次 考 査

- (1) 日 時 7月下旬～8月中旬
- (2) 場 所 神戸市内において行います。 [第2次考査についての詳細は、第1次考査結果通知の際にお知らせします。]
- (3) 選考の方法

科 目	時 間
実 技 考 査	古文書解読について筆記考査を行います。
論 文	表現力等について行います。
口 頭 試 問	個別面接により行います。

※ 携 行 品 筆記具、第1次考査合格通知、昼食

- (4) 発 表 8月下旬に発表します。

4 選考成績の通知

受験者のうち、選考成績の通知を希望する場合は、以下の方法でお知らせします。

- (1) 対象者 第1次考査不合格者及び第2次考査不合格者。
- (2) 内容 選考の結果を総合成績ランクで通知。
- (3) 期間 第1次考査及び第2次考査それぞれの合格発表日の翌日から1年間。
- (4) 手続 希望者は申込書の選考成績の通知の希望欄に記入してください。なお、電話での問い合わせにはお答えできません。

5 採用及び職務概要

- (1) 最終合格者は、令和2年4月1日に採用される予定です。
- (2) 最終合格者は採用後、教育委員会事務局文化財課、市立博物館等において、古文書等、資料の調査・保管、展示等の公開活用事業および文化財全般の保護事業に従事します。

6 待遇

現在の初任給は、大学卒の場合、月額約206,100円です。それ以外に、期末・勤勉手当、扶養手当、住居手当、通勤手当が支給要件に応じて支給されます。

7 申込手続

申込書配布場所	神戸市行財政局人事課	
申込	提出書類	①エントリーシート ②申込書…必要事項を記入し写真欄に写真を貼って提出し、「第1次考査受験票」を受け取ってください。 (必ず62円切手を同封してください。6月21日までに第1次考査受験票が届かない場合には、行財政局人事課にお問い合わせください。)
	申込先	行財政局人事課(神戸市役所1号館13階)
	受付期間	5月23日(木)から6月10日(月)まで(6月10日:消印有効) 受付時間は午前8時45分から午後5時30分まで (土曜日、日曜日、その他の休日は受け付けません。)

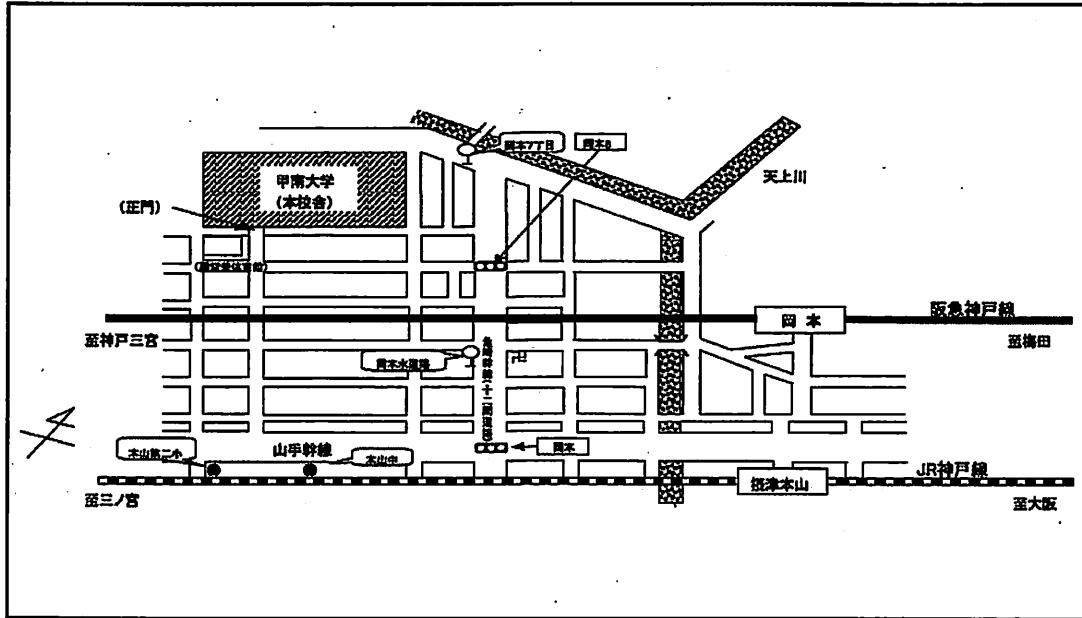
8 備考

受験資格がないこと又は申込書記載事項が正しくないことが判明した場合は合格を取り消すことがあります。

傷病等により職務に支障があると認められる場合には、任用候補者名簿の有効期間において、採用予定日が延期されることがあります。

なお、申込書の内容に異動が生じた場合、速やかに連絡してください。

第1次考查会場案内図



交 通 案 内

- 阪急神戸線「岡本駅」下車、北西へ徒歩約10分
- JR神戸線「摂津本山駅」下車、北西へ徒歩約15分
- 市バス33系統で、「阪神御影南口」より乗車し、「岡本7丁目」
「岡本水道路」下車、徒歩約5分

◆ 問い合わせ先

神戸市行財政局人事課

650-8570

神戸市中央区加納町6丁目5番1号

神戸市役所 1 号館13階

☎神戸 (078) 322-5088 (ダイヤルイン)



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

令和元年度神戸市広報印刷物登録第180号(広報印刷物規格B-1類)

令和元年度 神戸市職員（学芸員・司書）採用選考 エントリーシート

＜記入方法＞

- ※このシートに記入のうえ、所定の申込書とともに申込受付期間内に神戸市行財政局人事課まで提出してください。
エントリーシートの提出がない場合は、受け付けません。
- ※記入は、黒のボールペンまたは万年筆を用い、楷書で丁寧に書いてください。
- ※2. 3. 4. の設問について、既卒の方は大学生活4年間についての記入でも結構です。
- ※このエントリーシートは、面接の際の資料として用い、それ以外の目的には使用しません。

試験区分	ふりがな 氏名	※記入しないでください

1. あなたが神戸市職員を目指そうと思った理由を具体的に記入して下さい。(150 字程度)

.....

.....

.....

.....

2. 直近4年間において、力をいれて取り組み、最も達成感を感じたことについて、具体的に記入して下さい。
(200 字程度)

.....

.....

.....

.....

.....

3. 上記2以外で直近4年間において、地道に取り組んだことについて、具体的に記入して下さい。(200 字程度)

.....

.....

.....

.....

.....

4. 直近4年間において経験した最大の失敗について、具体的に記入して下さい。(200 字程度)

.....

.....

.....

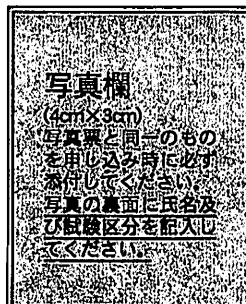
.....

.....

神戸市職員採用選考申込書

2020年4月1日採用予定(学芸員・司書)

※受験番号	選考区分	性別	国籍
		1. 男 2. 女	☐ 日本国籍 ☐ 外国籍()
氏名(漢字) ◎姓と名の間は1マス空ける。		生年月日 ◎西暦・8ヶで記入	
氏名(ふりがな) ◎濁点は1マス使用		年齢	



【受験票等の送付希望先】

郵便番号

住所 ◎都道府県から左詰で記入

住所 ◎都道府県から左詰で記入

郵便番号

住所 ◎都道府県から記入

【現住所】 ◎上記と異なる場合のみ記入

郵便番号

住所 ◎都道府県から記入

【連絡先】

自宅電話番号 ◎左詰、ハイフン記入

携帯電話番号(緊急連絡先)

【学歴】 受験資格となる最終学歴が分かるように記入。
◎全ての欄を記入してください。

(最終学校名)	(学部・専門課程名等)	(学科・コース・専攻等)	(所在地:市区町村まで)	(在学期間)◎西暦で記入 年 月 から 年 月 まで	(年制, 卒業(見込)等) ☐ 卒業 年制 ☐ 卒見 ☐ 中退
(その前)				年 月 から 年 月 まで	☐ 卒業 年制 ☐ 中退
(その前)				年 月 から 年 月 まで	☐ 卒業 年制 ☐ 中退

【経歴】 ◎学歴期間とは重複しない、現在までの経歴を記入。(学歴期間と重複しないアルバイトを含む。)

(最終勤務先名等)	(部課名, 職務内容)	(所在地)	(期間)◎西暦で記入 年 月 から 年 月 まで	◎備考欄
(その前)			年 月 から 年 月 まで	
(その前)			年 月 から 年 月 まで	

私は、神戸市職員採用選考案内の記載内容を了承の上、同選考を受験したいので、申し込みます。なお、私は採用選考案内に掲げてある受験資格を全て満たしており、この申込書の記載事項は全て事実と相違ありません。

2019年 月 日 名前

(必ず本人自署のこと)

神戸市

- ※印欄以外はもれなく記入してください。
- 記載事項に虚偽がある場合には、採用される資格を失います。
- 本申込書は職員採用選考以外での目的では使用しません。
- 第1次選考の時に、身体的障害により選考会場で特別な配慮を必要とする方は、その配慮と理由を「◎備考欄」に記入してください。

写真票

選考区分

氏名

かな

※受験番号

写真欄

(4cm×3cm)

申込書と同一のものを申し込み時に必ず添付してください。

写真の裏面に氏名及び試験区分を記入してください。

くし3
だたケ
さ写月
い真以
。を内
←貼に
つ撮
て影

受験票は後日郵送します。受験票郵送料として、62円切手を同封してください。それ以上の切手を同封されてもお返しいたしませんのでご了承ください。

申込書の記入に際しては、記入漏れ・間違い等にくれぐれもご注意ください。

2019 年 5 月 16 日

関係各位

同志社大学グローバル地域文化学部
学部長 清水 穰

教員（英語専任）の公募について（依頼）

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび当学部では、下記の要領で専任教員を募集することになりました。つきましては、貴関係者にご周知いただき、適任者の応募についてご配慮をいただきますよう、お願い申し上げます。

記

1. 任用職名：助教、または准教授
2. 担当科目：全学共通教養教育科目（英語）、および学部科目
3. 採用人員：1 名（アジア・太平洋コース）
4. 採用予定日：2020 年 4 月 1 日
5. 応募資格：
 - （1）英語教育学・応用言語学または関連分野を専門とする者。
 - （2）博士の学位を有する者、または博士号を取得見込みであることが証明できる者。
 - （3）国籍は問わない。ただし、本学での職務遂行上必要な日本語運用能力を有すること。
 - （4）英語教育の経験があり、英語教育および語学カリキュラム策定に強い意欲を持つ者。
 - （5）教育・研究のほか、各種校務に積極的に関わる意志のある者。
 - （6）採用後、近畿圏に居住できる者。
6. 提出書類：
 - （1）履歴書および研究業績書、各 1 通。書式は同志社大学ホームページを参照のこと。
（ダウンロード可 <https://www.doshisha.ac.jp/doshisha/recruit.html>）
 - （2）主たる業績 3 点（抜き刷り、コピー可）。業績のうち 1 点は英語で書かれたものとする。各々 5 部ずつ（ただし著書の場合は現物 1 部）提出のこと。各業績について日本語要約 5 部を添付すること（各 800 字以内・書式自由）。
 - （3）学位を有する者は、学位記の写し、または学位証明書。学位を有しない者は、学位を取得見込みであることを証明する文書。
 - （4）英語教育に関する提言：「グローバルな視点からみた今後の大学における英語教育のあり方についての提言」（2,000 字程度・書式自由）。5 部提出。
7. 応募締切日：2019 年 7 月 1 日（月）17:00【必着】

8. 書類提出先：〒602-0898 京都市上京区烏丸通上立売上る

同志社大学 グローバル地域文化学部

学部長 清水 穰

注) 封筒の表に「教員（英語専任）応募書類在中」と朱書し、
必ず書留便で送付すること（宅配便可）。

9. その他

- (1) 選考の過程で応募業績の原本およびその他すべての業績の原本の提出を求めることがある。(8月上旬)
- (2) 必要な時点で学位記（原本）の提示を求めることがある。
- (3) 必要に応じて面接を行う。また英語の模擬授業の実施を求めることがある。(8月下旬～9月上旬)
- (4) 面接に際し、本学部所定の交通費を支給する。
- (5) 選考結果については、選考が終了次第、直接本人に通知する。
- (6) 上記6の提出書類は、原則として返却しない。返却を希望する際は、送付先を明記した着払い伝票を同封のこと。
- (7) 夏期休暇中に連絡先が変わる場合には、変更期間、変更先の住所、電話／ファックス番号、Eメールアドレスなどを記載したものを、必ず応募書類に同封すること。

同志社大学グローバル地域文化学部

電話：075-251-2610 Fax：075-251-2781

Eメール：ji-grjm@mail.doshisha.ac.jp

グローバル地域文化学部ホームページ：<https://gr.doshisha.ac.jp/>

同志社大学ホームページ：<https://www.doshisha.ac.jp/>

付記

ご提出いただいた書類は厳重に保管・管理し、審査終了後は責任を持って破棄いたします。また、提出いただいた書類に含まれる個人情報は、個人情報保護法に基づき、選考以外の目的には使用いたしません。

以上

2019 年 5 月 16 日

関係各位

同志社大学グローバル地域文化学部
学部長 清水 穰

教員（英語任期付）の公募について（依頼）

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび当学部では、下記の要領で任期付教員を募集することになりました。

つきましては、貴関係者にご周知いただき、適任者の応募についてご配慮をいただきますよう、お願い申し上げます。

記

1. 任用職名：助教、准教授または教授
2. 担当科目：全学共通教養教育科目（英語）、および英語圏の文化・社会に関する科目
3. 採用人員：1 名
4. 任用期間：2020 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日の 5 年間（任用期間満了後の契約更新はしない）
5. 応募資格：
 - （1）英語を第一言語とする者、あるいはそれと同等の英語運用能力を持つ者。
 - （2）英語教育または英語文化圏に関する学問分野で修士以上の学位を有する者。
 - （3）博士課程前期（修士課程）修了後、大学またはそれと同水準の教育機関において、3 年以上の英語教育歴を有する者。
 - （4）校務遂行に必要な日本語運用能力を有する者。
 - （5）採用後、近畿圏に居住できる者。
 - （6）応募時点で 3 点以上の研究業績を有する者。
6. 義務時間および業務：
 - （1）授業担当は、今出川校地および京田辺校地における 1 週 16 時間（8 コマ）を最少基準とする。
 - （2）科目担当以外に、英語のカリキュラム運営に関する業務（教材作成、登録相談等）、学期末試験の監督（他教員の担当科目の応援監督を含む）、学生の英語能力向上を支援する業務（語学カウンセリング等）、国際交流に寄与する業務、広報・入学試験関連業務等を担当する。
7. 提出書類：
 - （1）履歴書・研究業績書および学校法人同志社内における職務経歴報告書、各 1 通。
書式は同志社大学ホームページを参照のこと。
（ダウンロード可 <https://www.doshisha.ac.jp/doshisha/recruit.html>）
 - （2）主たる研究業績 2 点（抜き刷り、コピー可）、およびその要約（英文で各 500 語程度）を各 3 部送付のこと。
 - （3）応募理由書（これまでの教育実績および今後の教育研究計画を 1,000 語程度の英文にまとめたもの）を 3 部。
 - （4）授業評価記録、シラバス、表彰歴など、優秀な教育実績を証明できるもの（コピー可）。（任意）

- (5) 修了証明書(修士)もしくは博士課程修了証明書のコピー1部。
- (6) TESOL の資格保持者は、その証明書類(diploma または certificate) のコピー1部。
- (7) 日本語能力を証明する書類(日本語能力試験等)を有する者は、証明書類のコピー1部。
8. 応募締切日: 2019年7月8日(月) 17:00【必着】
9. 書類提出先: 〒602-0898 京都市上京区烏丸通上立売上る
同志社大学グローバル地域文化学部
学部長 清水 穰
- 注) 封筒の表に「英語教員(任期付)応募書類在中」または
“Application Documents (Contract)”と朱書きし、必ず書留便で
送付すること(宅配便可)。
10. 選考方法:
- (1) 審査手続き
- 第1次審査: 上記提出書類による業績審査。
- 第2次審査(9月第1週): 第1次審査通過者にはその他の業績の提出を求め、新たな業績審査および英語と日本語による面接審査を行う。面接審査は、模擬授業および日本語読解力の簡単なテストを含む。
- (2) 第1次審査通過者に対しては、第2次審査のための提出書類、締め切り日、および面接日、面接場所を連絡する。
- (3) 面接に際し、本学部所定の交通費を支給する。
- (4) 選考結果については、選考終了後すみやかに本人に通知する。
- (5) 上記7の提出書類は原則として返却しない。返却を希望する場合は、送付先を明記した着払い伝票を同封のこと。
- (6) 夏期休暇中に連絡先が変わる場合には、変更期間、変更先の住所、電話/ファックス番号、Eメールアドレス等を記載し、必ず応募書類に同封すること。

同志社大学グローバル地域文化学部
電話: 075-251-2610 Fax: 075-251-2781
Eメール: ji-grjm@mail.doshisha.ac.jp
グローバル地域文化学部ホームページ: <https://gr.doshisha.ac.jp/>
同志社大学ホームページ: <https://www.doshisha.ac.jp/>

付記

提出いただいた書類は厳重に保管・管理し、審査終了後は責任をもって破棄いたします。また、提出いただいた書類に含まれる個人情報、個人情報保護法に基づき、選考以外の目的には使用いたしません。

以上

Limited-Contract Teaching Position, Beginning April 2020
English Division, Faculty of Global and Regional Studies, Doshisha University

May 16, 2019

The Faculty of Global and Regional Studies at Doshisha University in Kyoto will have one opening for a five-year limited contract position, beginning in April 2020.

Rank: Assistant Professor, Associate Professor or Professor, depending on qualifications

Contract period: From April 1, 2020 to March 31, 2025 (non-renewable)

Qualifications and application conditions (all of the following must be satisfied):

- 1) First language is English, or equivalent English proficiency
- 2) Holder of a Master's degree or above in the area of English language education (TESOL) or in an academic field related to any English-speaking culture
- 3) At least three years' English teaching experience at the university level
- 4) Sufficient Japanese proficiency for general administrative tasks
- 5) Resident of the Kinki area of Japan during the contract period
- 6) At least three academic publications

Responsibilities:

- 1) Courses: English and/or culture-related courses, at all undergraduate levels and for all faculties in the university, at the Imadegawa and/or Kyotanabe Campuses
- 2) Teaching load: A minimum of eight 90-minute classes per week, spread over five days
- 3) Administrative responsibilities: Involvement in curriculum design and planning; study-abroad programs; language counseling; registration, invigilation and entrance examination related duties including one academic year serving on the committee to prepare entrance examinations.

Application materials:

- 1) Curriculum vitae (履歴書, *rirekisho*), a list of academic publications (業績書, *gyosekisho*) and a list of your previous work experience within The Doshisha (職務経歴報告書, *shokumukeireki houkokusho*) [if not applicable, please write “なし”], for which the necessary forms can be downloaded from the University home page: <https://www.doshisha.ac.jp/doshisha/recruit.html>
- 2) THREE offprints/copies each of TWO academic publications, together with THREE copies of an English synopsis (about 500 words) for each publication
- 3) THREE copies of a statement in English (approximately 1,000 words), explaining your reasons for applying, including your personal philosophy/comments regarding teaching methods
- 4) Materials pertinent to your teaching prowess, such as student evaluations, syllabi, and awards. Photocopies are accepted.
- 5) Copy of diploma of highest degree achieved (Master's or Doctorate)
- 6) Copy of TESOL diploma/certificate (if available)
- 7) Copy of document(s) certifying qualification at a certain level of the JEES Japanese Language Proficiency Test or similar measurement of Japanese proficiency (if available)

Deadline for application: Application materials must arrive by 17:00 on Monday, July 8, 2019 via registered mail (*kakitome*) or commercial parcel delivery (*takuhaibin*).

Send application to: Professor Minoru Shimizu, Dean
Faculty of Global and Regional Studies
Doshisha University
Karasuma-dori Kamidachiuri-agaru
Kamigyo-ku, Kyoto 602-0898
Japan

N.B. Please print "Application Documents (Contract)" in red ink on the face of the envelope.

Please note the following with regard to the selection process:

- 1) After receipt of your initial application materials, we may request additional items.
- 2) Upon completion of the initial screening procedures, successful candidates will be interviewed in both English and Japanese and will be asked to give a demonstration lesson. Interview will be scheduled on the first week of September. At that time, we will request to see the originals of degree certificates/diplomas. During the interview, each candidate will also be briefly examined on his/her reading ability in Japanese.
- 3) For those candidates who are requested to come to Doshisha for an interview, partial funding for transportation costs may be available according to the Faculty's regulations.
- 4) Candidates will be notified of the results upon completion of the selection process.
- 5) In principle, application materials cannot be returned. Upon request, however, they will be returned by "pay on delivery." In such case, please specify "request return of documents" in red ink at the end of a list of academic publications (*gyosekisho*), and include a completed "pay on delivery" form of commercial parcel delivery (*takuhaibin*). Without it, we cannot undertake to return application materials.
- 6) Applicants should provide contact details if they plan to leave Japan during July, August and/or September, or if they change their address in Japan during the above period.

Faculty of Global and Regional Studies
Phone: +81-75-251- 2610 Fax: +81-75-251- 2781
E-mail: ji-grjm@mail.doshisha.ac.jp
Faculty home page: <https://gr.doshisha.ac.jp/>
Doshisha University home page: <https://www.doshisha.ac.jp/>

Application materials will be retained by the Faculty of Global and Regional Studies, and safely disposed of after the completion of the selection process. Personal information will not be used for any other purposes, in accordance with the Protection of Personal Information Law of Japan.

2019 年 5 月 16 日

関係各位

同志社大学グローバル地域文化学部
学部長 清水 穰

教員（任期付）の公募について（依頼）

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび当学部では、下記の要領で任期付教員を募集することになりました。

つきましては、貴関係者にご周知いただき、適任者の応募についてご配慮をいただきますよう、お願い申し上げます。

記

1. 任用職名：助教、准教授、または教授
2. 担当科目：全学共通教養教育科目（ドイツ語）、および言語文化関連科目
3. 採用人員：1 名
4. 任用期間：2020 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日の 5 年間（任用期間満了後の契約更新はしない）
5. 応募資格：
 - (1) ドイツ語を母語とする者、またはそれに準ずるドイツ語運用能力を有する者。
 - (2) ドイツ語教授法（DaF、e-ラーニング等）、ドイツ語学・文学研究、ドイツ語圏の文化・社会研究、または日本学を専門とし、ドイツ語教育に関する経験実績を有する者。
 - (3) 博士の学位を有する者またはそれに準ずる者。
 - (4) 校務遂行に必要な日本語運用能力を有する者。
 - (5) 近畿圏に居住できる者。
6. 義務時間と業務：
 - (1) 授業担当は、今出川校地および京田辺校地における 1 週 16 時間（8 コマ）を基準とする。
 - (2) 科目担当以外に、外国語カリキュラムに関する業務、学生の外国語能力向上に関する業務、国際交流に寄与する業務、入学試験関連業務等を担当する。
7. 提出書類：
 - (1) 履歴書・研究業績書および学校法人同志社内における職務経歴報告書各 1 通。
書式は同志社大学ホームページを参照のこと。
(ダウンロード可 <https://www.doshisha.ac.jp/doshisha/recruit.html>)
 - (2) 主たる業績 2 点（抜き刷り、コピー可。各々日本語による 800 字程度の要約を添付すること）を各 3 部送付のこと。
 - (3) 応募理由書（これまでの教育実績および今後の教育研究計画をドイツ語 1,000 語程度、または日本語 3,000 字程度にまとめたもの）。
 - (4) 学位証明書のコピー。

(5) 日本語能力を証明する書類（検定資格など）がある場合、そのコピー（ただし日本語で書かれた業績がある場合には不要）。

8. 応募締切日：2019年7月12日（金）17：00【必着】

9. 提出先：〒602-0898 京都市上京区烏丸通上立売上る

同志社大学 グローバル地域文化学部

学部長 清水 穰

注）封筒の表に「ドイツ語教員（任期付）応募書類在中」と朱書き、必ず書留便で送付すること（宅配便可）。

10. その他：

- (1) 選考の過程でその他の業績の提出を求めることがある。
- (2) 必要な時点で学位証明書等の原本の提出を求めることがある。
- (3) 必要に応じて面接を行う（9月上旬または中旬を予定）。面接の際の交通費は、本学部の規定に基づいて支給する。
- (4) 選考結果については、選考終了後すみやかに本人に通知する。
- (5) 上記7の提出書類は原則として返却しない。
- (6) 夏期休暇中に連絡先が変わる場合には、変更期間、変更先の住所、電話／ファックス番号、Eメールアドレス等を記載し、必ず応募書類に同封すること。

グローバル地域文化学部

ホームページ：<https://gr.doshisha.ac.jp/>

TEL：075-251-2610

FAX：075-251-2781

E-mail：ji-grjm@mail.doshisha.ac.jp

同志社大学

ホームページ：<https://www.doshisha.ac.jp/>

付記

提出いただいた書類は厳重に保管・管理し、審査終了後は責任をもって破棄いたします。
また、提出いただいた書類に含まれる個人情報、個人情報保護法に基づき、選考以外の目的には使用いたしません。

以上

Doshisha Universität Kyoto/ Japan

An der Doshisha Universität ist zum 1.4.2020 folgende Stelle neu zu besetzen:

DOZENTUR / PROFESSUR

(befristet für 5 Jahre: vom 1.4.2020 bis zum 31.3.2025. Eine Verlängerung des Vertrags ist ausgeschlossen)

Aufgabengebiete:

- Lehre im Bereich Deutsch als Fremdsprache, deutsche Landeskunde und Interkulturelle Kommunikation
- Unterrichtsumfang: Mindestens 8 Doppelstunden pro Woche im Imadegawa- sowie Kyotanabe-Campus (Deutsch für Hörer aller Fakultäten)
- Organisatorisch-administrative Aufgaben (Planung und Verbesserung des Curriculums, Studienberatung, Organisation von zusätzlichen Veranstaltungen zur Förderung des interkulturellen Austausches, Mitarbeit bei den Aufnahmeprüfungen usw.)

Bewerbungsvoraussetzungen:

- Deutschkenntnisse: Muttersprachlich oder auf muttersprachlichem Niveau
- Engagement in Lehre und Forschung im Bereich Deutsch als Fremdsprache
- Studienabschluss (möglichst Promotion) in Deutsch als Fremdsprache und/oder Germanistik und/oder einem anderen relevanten geistes- und sozialwissenschaftlichen Fach. Im Falle von einem Abschluss in Japanologie sind praktische Erfahrungen im Bereich DaF notwendig.
- ausreichende Japanischkenntnisse für die Durchführung der universitären Aufgaben
- Bereitschaft, bei Vertragsabschluss im Bereich Kinki zu wohnen

Bewerbungsunterlagen:

- Ausführlicher Lebenslauf mit einer Auflistung aller Berufs- und Lehrerfahrungen und – falls vorhanden – einer Auflistung der früheren Anstellungen bei der Doshisha Universität / der Doshisha Frauen Universität / den zur Doshisha gehörenden Grund-, Mittel- und Oberschulen sowie eine Auflistung der wissenschaftlichen Veröffentlichungen (Formulare zum Herunterladen: <https://www.doshisha.ac.jp/doshisha/recruit.html>)
- Jeweils drei Kopien von den zwei wichtigsten Veröffentlichungen mit Resümee auf Japanisch (ca. 800 Schriftzeichen)
- Ein Motivationsschreiben auf Deutsch (ca. 1000 Wörter) oder Japanisch (ca. 3000 Schriftzeichen)
- Kopien der wichtigsten Zeugnisse betr. akademischer Titel und Japanischkenntnisse

Bewerbungsverfahren:

- Bewerbungsschluss: **12.7.2019. (Die Unterlagen müssen bis zum 12. Juli um 17 Uhr bei folgender Adresse eingetroffen sein.)**

- Anschrift: **Prof. Minoru Shimizu**

Doshisha University Faculty of Global and Regional Studies

Karasuma-dori Kamidachiuri Agar, Kamigyo-ku, Kyoto

602-0898 JAPAN

- Im Verlauf des Bewerbungsverfahrens werden die Bewerberinnen/Bewerber der engeren Auswahl aufgefordert, alle weiteren Veröffentlichungen sowie die Originale der Zeugnisse einzureichen.
- Anfang/Mitte September ist ein persönliches Interview mit den Bewerberinnen/Bewerbern der engeren Auswahl geplant. Ein Teil der Fahrtkosten kann den Bestimmungen der Fakultät entsprechend erstattet werden.
- Die Bewerbungsunterlagen dienen nur dem internen Gebrauch. Bei einer erfolglosen Bewerbung werden alle Unterlagen den Bestimmungen des Datenschutzes entsprechend vernichtet.
- Weitere Informationen zur Doshisha University Faculty of Global and Regional Studies,
HP: <https://gr.doshisha.ac.jp/>
E-Mail: ji-grjm@mail.doshisha.ac.jp
Tel: 075-251-2610 Fax: 075-251-2781

Bitte beachten:

1. Schreiben Sie bitte „ドイツ語教員(任期待)応募書類在中“ mit Rot auf den Umschlag. Schicken Sie bitte alle Unterlagen mit Einschreiben (書留) oder als direkte Zustellung per Briefbote (宅配便) an die oben genannte Anschrift.
2. Bitte alle Anschriften (Adresse in Japan und Heimatadresse) sowie Telefonnummern und E-Mail-Adressen angeben, unter denen Sie in dringenden Fällen erreichbar sind.

令和元年 5 月 23 日

関係機関の長 殿

富山県立大学

工学部長 中島 範行

【公印省略】

教員の公募について（依頼）

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より、富山県立大学の運営にご支援、ご協力をいただき、ありがとうございます。

本学は、日本海側初の工学系公立大学として平成 2 年に開学して以来、地域に貢献する、より魅力ある大学をめざして、たえず教育研究の充実と高度化に努めております。

このたび本学工学部では、別添のとおり、教養教育、機械システム工学科、電気・電子工学科（R2.4開設予定）、情報システム工学科（R2.4開設予定）、環境・社会基盤工学科の専任教員の公募を行います。

つきましては、貴学部、貴研究科ならびに貴機関関係の各位にご周知いただき、適任者をご推薦賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

教員公募のお知らせ

富山県立大学（工学部）では、次のとおり、教員の公募を実施しています。

多くの皆様のご応募をお待ちしております。

富山県立大学は、日本海側初の工学系公立大学として平成2年に開学して以来、地域に貢献し、より魅力ある大学を目指して、たえず教育研究の充実と高度化に努め、社会の発展に役立つ技術者を輩出してきました。

平成27年4月に地方独立行政法人となったことを契機として、今まで以上に、学生を大きく伸ばす教育力の高い大学、未来を志向した高度な研究を推進する大学、広く開かれ地域に貢献する大学を目指してまいります。

公募一覧

	分 野	学部	職 名	募集 人員	採用予定日	公募締切日
1	英語教育関連分野	工学部	講師	1	令和2年 4月1日	令和元年 8月16日
2	機械材料分野	工学部	助教 又は講師	1		
3	設計工学分野	工学部	講師 又は准教授	1		
4	集積システム分野	工学部	准教授 又は講師	1		
5	IoT (Internet of Things) 基盤工学分野	工学部	准教授 又は講師	1		
6	環境工学分野（環境化学）	工学部	助教	1		

※ 公募の詳細は、別紙1～別紙6をご覧ください。

※ 履歴書の記載に当たっては、別紙7をご参照ください。

工学部（令和2年4月1日採用）

1 教養教育（英語教育関連分野）

- 1 職 名 講師
- 2 任用形態 特別任用教員（任期5年）
- 3 募集人員 1名
- 4 所属講座 工学部教養教育センター
- 5 応募資格

次の（1）から（7）の要件をすべて満たすこと。

- （1）英語を母語とするか、それに準じた英語運用能力を持つ者。
- （2）修士の学位を有することが望ましい。
- （3）大学等の高等教育機関又は高等学校、専門学校等における英語関連科目の教育経験を有すること。（日本の教育機関であることが望ましい。）
- （4）本学学生の英語教育に熱意を持ち、真摯に学生と向き合って教育を行えること。

担当科目：

工学部：英語基礎、総合英語、英語特別演習、教養ゼミⅠ・Ⅱ（1年次生対象）

看護学部：英語

（週9～12コマ：1コマ90分、年度によってコマ数が異なる場合あり）

- （5）教養ゼミ（授業の他に学生への指導・支援を含む）を運営できること。
- （6）英語のカリキュラム運営に関する業務、学生の英語能力向上を支援する業務、国際交流に寄与する業務、入学試験関連業務及び所属長が必要と認めた業務を担当できること。（研究業務は含まない。）
- （7）上記（4）、（5）、（6）等の校務遂行に十分な日本語運用能力を有すること。

6 勤務形態

任期5年（再任なし）

（任期終了後の本学特別任用教員の公募がある場合は、応募は可能です。）

給料および諸手当

月額：講師 293,800円

賞与、退職手当を支給する。

勤務時間等の就業形態は、他の常勤教員と同じで、公立大学法人富山県立大学教職員就業規則に定めるとおり。

その他、上記に定めのない事項については、公立大学法人富山県立大学特別任用教員規程等による。

7 勤務場所 公立大学法人富山県立大学（富山県射水市黒河5180）

8 採用予定日 令和2年4月1日

9 応募書類（用紙はすべてA4、縦置き、横書き、片面印刷）

- （1）履歴書（本学の指定様式。写真を添付し、連絡先にEメールアドレスも記載。）1部

（注）本学のホームページに履歴書の様式及び記載例を掲載していますので、ご参照ください。

（本学のホームページ <http://www.pu-toyama.ac.jp/>）

- （2）最終学位取得証明書（コピー可） 1部

- (3) 教育業績リスト（次の項目ごとに記載してください。様式自由・A4縦サイズ） 1部
- ① 担当科目（教育機関名、科目名、学年、内容、期間を明記）
 - ② 講座・研修等の講師等（対象、内容、期間を明記）
 - ③ 作成した教科書・教材等の概要
 - ④ その他教育に関する特記事項（教育団体の活動等）
- (4) 教育以外の業績リスト（様式自由・A4縦サイズ） 1部
- ① 通訳等の実務経験
 - ② 学術研究等（卒業研究、修士論文、研究報告書、学術著書等）
 - ③ その他教育以外に関する特記事項（学術団体の活動等）
- (5) 教育の抱負等（①、②どちらもA4用紙で1ページ程度）
- ① これまで取り組んできた英語教育の内容 1部
 - ② 着任後の英語教育についての抱負 1部
- (6) 応募者に係る推薦書（富山県立大学工学部長宛。推薦者の氏名及び連絡先を含む。）
（推薦者は日本人が望ましい。） 1部
- (7) 第1次選考結果通知用封筒（応募者の郵便番号・住所・氏名記載、切手不要） 1部
- 10 応募期限 令和元年8月16日（金）必着
- 11 書類提出先
〒939-0398 富山県射水市黒河5180
富山県立大学工学部教養教育センター長 石森勇次 宛
（注）応募書類は簡易書留による郵送とし、封筒の表に「教員公募書類在中（工学部教養教育センター・英語）」と朱書きしてください。
- 12 選考方法
- (1) 第1次選考
提出書類により行い、選考結果は、応募者宛に郵送にて通知します。
- (2) 第2次選考
面接（模擬講義を含む）を日本語及び英語で行います（第1次選考合格者に詳細を通知します）。
（注）面接に係る交通費等の費用の支給はありませんのでご了承ください。
- 13 問い合わせ先
〒939-0398 富山県射水市黒河5180
富山県立大学工学部教養教育センター長 石森勇次
電 話 0766-56-7500（内線1327）
FAX 0766-56-6117（教養教育センター学科資料室）
E-mail ishimori@pu-toyama.ac.jp
- 14 その他
- (1) 男女共同参画社会基本法に則って教員の選考を行います。
 - (2) 適任者がいない場合は、今回の採用を見送ることがあります。
 - (3) 応募書類に記載されている個人情報については、本選考の目的のみに利用し、関係法令の規定等に基づくなど正当な理由なく第三者への提供等を行うことはありません。
 - (4) 応募書類は原則として返却しませんのでご了承ください。
 - (5) 本学は平成31年4月に看護学部を開設し、工学部および看護学部の教養教育を担う組織として教養教育センターを設けています。

年 月 日現在

ふりがな	※ 男・女	写 真
氏 名	印	
年 月 日生 (満 歳)		
ふりがな	電話	
現住所 〒		
ふりがな	電話	
連絡先 〒 (現住所以外に連絡を希望する場合のみ記入)		
携帯電話		
E-mail		

[illegible]

志望の動機、特技、好きな学科など	通勤時間 約 時間 分	
	扶養家族数（配偶者を除く。） 人	
	配偶者 ※ 有・無	配偶者の扶養義務 ※ 有・無

本人希望記入欄（特に給料、職種、勤務時間その他の希望などがあれば記入）

記載例

履歴書

令和 年 月 日現在

ふりがな とみやま いちろう	※ (男) 女
氏 名 富 山 一 郎	印
昭和 53年 1 月 1 日生 (満 〇〇歳)	
ふりがな とうきょうとぶんきょうくがっこうちょう たてやま	電話
現住所 〒112-0000 東京都文京区学校町1-2-3 ハイツ立山1号室	03-3333 -4444
ふりがな とうきょうとぶんきょうくだいがくちょう せんたんだいがくこうがぶこうがくけんきゅうしつ	電話
連絡先 〒 (現住所以外に連絡を希望する場合のみ記入) 東京都文京区大学町1-2 先端大学工学部工学研究室	〇〇〇〇〇〇
携帯電話 090-111-2222	
E-mail tomiyama@sentan.ac.jp	

写 真

確実に連絡ができるよう携帯番号とメールアドレスを記入してください。

年	月	学 歴 (高校卒業以降の学歴及び学位取得について記載)
平成 2	3	都立先端高等学校卒業
平成 3	4	東京先端大学工学部先端学科入学
平成 7	3	東京先端大学工学部先端学科卒業
平成 8	4	東京先端大学大学院工学研究科先端専攻博士前期課程入学
平成 10	3	東京先端大学大学院工学研究科先端専攻博士前期課程修了
平成 10	4	東京先端大学大学院工学研究科先端専攻博士後期課程入学
平成 13	3	東京先端大学大学院工学研究科先端専攻博士後期課程修了
平成 13	3	博士 (工学) の学位取得 (東京先端大学、学位記: 博甲第 123 号)
職 歴 等		
平成 2	4	大学受験のため自宅研修 (～平成 3 年 3 月)
平成 7	4	株式会社〇〇先端研究所研究員 (～平成 8 年 3 月)
平成 13	4	東京先端大学工学部助手 (□□専攻◇◇講座) 現在に至る
年	月	免許・資格
平成 6	5	普通自動車第一種免許
平成 7	3	高等学校教諭二級免許 (工業)
賞 罰		

履歴に中断がないよう記載してください。

就職歴は、初任給の算定に必要となるため、必ず記入してください。

特に、記入する必要はありません。

志望の動機、特技、好きな学科など
志望の動機:
特技: 英語 (TOEIC 800 点)
専門分野: 情報処理工学
趣味: スキー、音楽鑑賞 (クラシック)、書道

自由に記入してください。

通勤時間	約 時間 分
扶養家族数 (配偶者を除く。)	1 人
配偶者 ※ (有) 無	配偶者の扶養義務 ※ (有) 無

本人希望記入欄 (特に給料、職種、勤務時間その他についての希望などがあれば記入)

自由に記載してください。

2019年5月22日

関係機関の長 殿

同志社大学グローバル・コミュニケーション学部
学部長 南 井 正 廣
(公印省略)

教員の公募について（ご依頼）

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、この度本学部では、別紙のとおり教員を公募いたします。

つきましては、ご多用のところ恐縮に存じますが、貴職関係方面へ周知くださいますようお願い申し上げます。

以 上

英語任期付教員公募要領

1. 任用職名：助教、准教授、または教授
2. 担当科目：主として全学共通教養教育科目（英語）。および、グローバル・コミュニケーション学部専門科目。
3. 採用人員：1名
4. 任用期間：2020年4月1日～2025年3月31日の5年間（任用期間満了後の契約更新はしない）
5. 応募資格：
 - （1） 英語を母語とする者。
 - （2） 英語教育または応用言語学の分野で修士以上の学位を取得している者。
 - （3） 3年以上の英語の教育経験を有する者（大学レベル）。
 - （4） 校務遂行に必要な日本語運用能力を有する者。
 - （5） 近畿圏に居住できる者。
 - （6） 応募時点で2点以上の研究業績を有する者。
6. 義務時間および業務：
 - （1） 担当授業時間数は、1週（5日）8コマを基準とする。
 - （2） 科目担当以外に、英語のカリキュラム運営に関する業務（教材作成、登録相談等）、各種委員会の参加、国際交流に寄与する業務、広報・入学試験関連業務（監督、問題作成、採点等）等を担当する。
7. 提出書類：
 - （1） 履歴書、業績書、および、学校法人同志社内における職務経歴報告書（該当する職務経歴がない場合も「なし」と記して提出）、各1通。書式は同志社大学ホームページを参照のこと。
（ダウンロード可 <http://www.doshisha.ac.jp/doshisha/recruit.html>）
 - （2） 主たる研究業績2点以内（抜き刷り、コピー可。各々英語で300語以内の要約を付すこと）。
 - （3） 応募理由書（これまでの教育実績および今後の教育・研究計画について英語で1,000語程度、あるいは日本語2,000字程度にまとめたもの）を1部。
 - （4） 応募者について問合せ可能な照会先2件（氏名・所属・電話番号・Eメール等）を1部。
 - （5） 学位証明書（修士、もしくは博士課程修了証明書）のコピー。
 - （6） TESOLの資格（diploma または certificate）を有する者は、その証明書類のコピーを1部。
 - （7） 日本語能力を証明する書類（日本語能力試験等）を有する者は、その証明書類のコピーを1部。
8. 応募締切日：2019年8月23日（金）17時までに必着のこと。
9. 提出先および問い合わせ先：〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷1-3
同志社大学グローバル・コミュニケーション学部
学部長 南井 正廣

注) なお、封筒の表に「英語任期付教員応募書類在中」と朱書し、必ず書留便で送付すること（宅配便可）

※本件に関する問合せは、e-mail (jt-gcjm@mail.doshisha.ac.jp) でお願ひ致します。（電話での問合せはご遠慮ください。）

10. その他：

- (1) 選考の過程でその他の業績の提出を求めることがある。
- (2) 必要な時点で学位証明書等の原本の提示を求める。
- (3) 必要に応じて（英語および日本語による）面接を行う。また、模擬授業の実施を求めることがある。
- (4) 面接の際の交通費は、本学部の規定に基づいて支給する。
- (5) 選考結果については、選考終了次第、直接本人に通知する。
- (6) 上記7の提出書類は原則として返却しない。

提出いただいた書類は厳重に保管・管理し、審査終了後は責任を持って破棄します。また、提出いただいた書類に含まれる個人情報、個人情報保護法に基づき、選考以外の目的には使用いたしません。

以 上

One Limited-term Contract Teaching Position, Beginning April 2020
English Course Section, Faculty of Global Communications, Doshisha University

Position: Assistant Professor, Associate Professor or Professor, depending on qualifications

Courses: 1) General English courses for all undergraduate faculties in the university;
2) Major courses for the Faculty of Global Communications

Contract Period: From April 1, 2020 to March 31, 2025 (non-renewable)

Qualifications and Application conditions (All of the following must be satisfied):

- 1) First language is English
- 2) Holder of a Master's degree or above in the area of English language education (TESOL), applied linguistics, or a related academic field
- 3) At least three years' English teaching experience at the university level
- 4) Sufficient Japanese proficiency for general administrative tasks
- 5) Resident of the Kinki area of Japan during the contract period
- 6) At least two academic publications

Responsibilities:

- 1) Teaching load: A minimum of eight classes per week, spread over five days
- 2) Administrative responsibilities: Involvement in curriculum design and planning; materials development; counselling for course registration; participation in designated committees; entrance exam development, proctoring, and scoring; contributions to Doshisha's international exchange programs; PR activities for recruiting new students (including demonstration lessons at some university events)

Application materials:

- 1) Curriculum Vitae (履歴書, *rirekisho*), a list of academic publications (業績書, *gyosekisho*), and a list of previous work experience within Doshisha schools (職務経歴報告書, *shokumukeireki-houkokusho*) [if not applicable, please write "NA" or "なし" in the form]. The necessary forms can be downloaded from the university website:
<http://www.doshisha.ac.jp/doshisha/recruit.html>
- 2) One offprint/copy of each of two academic publications, with an English synopsis (up to 300 words) for each publication
- 3) Statement in English (about 1,000 words), explaining the reason for applying, including personal philosophy/comments regarding teaching methods
- 4) Names and contact information of two references (affiliation, phone number, e-mail address)
- 5) Copy of either Master's degree certificate or Doctorate certificate
- 6) Copy of TESOL diploma/certificate (if available)
- 7) Copy of document(s) certifying qualification at a certain level of the Japanese Language Proficiency Test (JLPT) or similar measurement of Japanese proficiency (if available)

Deadline for application: Application materials must arrive by 5 p.m., Friday, August 23, 2019, via registered mail (*kakitome*) or commercial parcel delivery (*takuhaibin*).

Send applications to: Professor Masahiro Minai, Dean
Faculty of Global Communications
Doshisha University
1-3 Tatara Miyakodani, Kyotanabe
Kyoto 610-0394
Japan

N.B. Please print "Application Documents (Contract)" in red on the face of the envelope.

Please note:

- 1) After receipt of initial application materials, requests may be made for additional items.
- 2) We may request to see original degree certificates/diplomas.
- 3) Upon completion of initial screening procedures, final candidates will be interviewed in both English and Japanese, and may be asked to give a demonstration lesson.
- 4) For those candidates who are requested to come to Doshisha for an interview, partial funding for transportation costs may be available according to the Faculty's regulations regarding such funding.
- 5) Candidates will be directly notified of the results upon completion of the process.
- 6) Application materials cannot be returned.

*For inquiry regarding this recruitment, please e-mail: jt-gcjm@mail.doshisha.ac.jp

Application materials will be retained by the Faculty of Global Communications and will be safely disposed of after the selection. Personal information will not be used for purposes other than the selection, according to the Protection of Personal Information Law of Japan.